

「劇場・ホールと再開発事業 ～オペレーショナルアセットの可能性～」

複数の建物用途で構成される再開発事業では、集客、賑わい、情報発信等の要素として、劇場・ホールを検討し、導入することがあります。劇場・ホールは運営ノウハウに依存する施設（オペレーショナルアセット）の一種であり、公共、民間の様々な主体による整備運営が進んでいますが、最近では、まちづくりやエリアマネジメント等の観点からも、多目的なホールの空間を設けることの重要性が増しています。

劇場・ホールは、物理的な制約や使用目的への対応等を踏まえた「施設計画」としての特性と、竣工後の運営、維持管理、営業・事業収支の方針を踏まえた「運営計画」としての特性とを、どう整理していくかが重要です。施設開業後のホール事業自体の事業性に配慮しながら、他用途との連携や周辺のまちづくりとの協働も見据えていくことで、その再開発の価値が変わってくる、と言えます。

本研究会では、劇場・ホールのトレンドに精通した講師をお迎えし、再開発や複合開発における劇場・ホールの現状や課題を整理し、施設計画と運営計画等の観点から、背景、全般的な基本事項、最新動向等を解説いただき、再開発事業において導入検討を進める際のポイントと課題を深めていきます。

この研究会を通じて、再開発事業における劇場・ホールの導入とその後の運営に関する理解を深めて頂き、再開発事業推進の一助となれば幸いです。

◇ 内容

- 0. はじめに：劇場・ホール等の運営ノウハウに依存する施設（オペレーショナルアセット）に関して
- 1. 劇場・ホールと再開発事業の現状・課題
- 2. 劇場・ホールについて（背景、類型、基本事項、最新動向等）
- 3. 再開発や複合開発における、劇場・ホール導入のポイント、課題（ハード施設面、ソフト運営面等）
- 4. 劇場・ホール導入の今後の動向、あり方（意見交換、質疑応答）

◇ 講師

株式会社シアターワークショップ 運営プロデュース部門 執行役員 丸山 健史 氏
 日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社
 マネジメント・コンサルティング部門 ディレクター 古澤 健児 氏
 (一社)再開発コーディネーター協会 事業企画委員会 委員

◇ コーディネーター

株式会社都市ひろ計画事務所 プロジェクトマネージャー 鐵 真孝 氏
 (一社)再開発コーディネーター協会 事業企画委員会 委員

日時：令和7年6月25日(水) 14:00~17:00
 場所：ビジョンセンター浜松町(住所：港区浜松町2-8-14 浜松町TSビル)
 ※会場が外部会場ですので、ご注意願います。(https://www.visioncenter.jp/hamamatsucho/access/)
 定員：50名前後(但し、定員になり次第、締切と致します。)
 参加費：15,000円(会員は13,000円)(税込)
 ※事前振込とし、当日参加費の現金取扱いは致しません。

申込方法：下記①、または②の方法にてお申込み下さい。

- ① 右記申込みフォームよりお申込み下さい。【<http://urca.or.jp/mailform/gijyutu02/gijyutu02entry.html>】
- ② 下記申込欄にご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申込み下さい。

FAX 03-3454-3015 メール: jigyuu@urca.or.jp

※ 受講当日は、受講票(後日送付)を忘れずにお持ちいただきますよう、お願い致します。
 なお、開催の7日前までに入金確認が取れない場合、受講票は無効となります。

会社名： _____ 電話： _____

請求書送付先：(〒 _____) _____

請求書宛名： _____

会員種別【 1.個人会員(正・賛助) 2.法人会員(正・賛助) 3.一般】

所属・役職名	氏名	連絡先メールアドレス